

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【女子】 第 5 節 第 11 日

開催日時 10 月 12 日 (月) 会場 日光市ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00～

天理大学ベアーズ 【リーグ6位】	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	グラクソ・スミスクラインOrange United 【リーグ7位】
1 勝 0 分 0 敗 勝点 3				勝点 0 0 勝 0 分 1 敗

第2試合 11:40～

東海学院大学 【リーグ5位】	7	$\begin{pmatrix} 4-0 \\ 1-0 \\ 1-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	立命館大学ホリーズ 【リーグ8位】
1 勝 0 分 0 敗 勝点 3				勝点 0 0 勝 0 分 1 敗

第3試合 13:20～

コカ・コーラウエストレッドスパークス 【リーグ2位】	1	$\begin{pmatrix} 0-1 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	1	南都銀行SHOOTING STARS 【リーグ3位】
0 勝 1 分 0 敗 勝点 2		3 SO 1		勝点 1 0 勝 1 分 0 敗

第4試合 15:00～

ソニーHC BRAVIA Ladies 【リーグ1位】	3	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	山梨学院CROWNING GLORIES 【リーグ4位】
1 勝 0 分 0 敗 勝点 3				勝点 0 0 勝 0 分 1 敗

【各試合の結果・詳細】

第1試合

天理大学ベアーズ【リーグ6位】 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 グラクソ・スミスクラインOrange United【リーグ7位】

勝点 3 勝点 0
1 勝 0 分 0 敗 0 勝 0 分 1 敗

得点	天理→58分江村		
戦評	<p>天理のセンターパスにより試合が開始された。一進一退の攻防の中、開始5分、GSKがPCを得るも得点には繋がらない。両チームとも主導権を握ろうとしたが膠着状態が続き、0-0のまま第1Qを終える。</p> <p>第2Q、GSKはドリブルで敵陣へ攻め入るが、天理の厚いディフェンスに阻まれる。23分、天理#10松本がPCを獲得するが得点につながらず、またも0-0で第2Qを終える。</p> <p>第3Q、天理の反則を起点にGSK#6中畝地がドリブルで攻め入るが、天理のディフェンスに阻まれる。第3Qも膠着状態が続き、0-0で終了となる。</p> <p>第4Qの50分、GSKがPCを獲得するが、得点にならない。試合が動いたのは終了間際の58分、天理のフリーヒットから#7江村が受け、ドリブルでサークルに持ち込みリバースシュートが決まり、1-0となる。これが決定打となり、1-0で天理が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	和田 千恵子	アンパイア	穴井 猛司
ジャッジ	福田 美由紀・松葉 美穂・若林 美枝		栗原 崇

第2試合

東海学院大学【リーグ5位】 7 $\begin{pmatrix} 4 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 立命館大学ホリーズ【リーグ8位】

勝点 3 勝点 0
1 勝 0 分 0 敗 0 勝 0 分 1 敗

得点	東海学→7分鳥山、9分森下、11分岡本、13分高橋、30分菊地、32分清水、54分清水		
戦評	<p>立命館のセンターパスにより試合が開始された。開始7分、東海学がPCを獲得し、#14八木のシュートを#21鳥山がタッチして先制する。その後の9分、東海学#24中花のセンターリングを#7森下がタッチシュートで追加点をあげる。更に勢いに乗った東海学は、11分にPCから#2的場のシュートを#5岡本がタッチ、13分には右側の攻撃から#10高橋がタッチシュートを決め、4-0で東海学が優位に試合が運ぶ。</p> <p>第2Q中盤から立命館もPCを獲得するが、得点に結びつかず、逆に30分、東海学の#11菊地が追加点をあげ、5-0で第2Qが終了する。</p> <p>第3Qも攻撃の手を緩めない東海学が、32分にPCから#9清水が決め、6-0とその差を広げた。第4Qに入っても東海学ペースは変わらず、54分に#9清水のタッチシュートで追加点をあげ、7-0の大差で東海学が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	藤原 真由美
ジャッジ	大門 直美・苅谷 和代・島田 若菜		山田 恵美

ホッケー日本リーグ機構

第3試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス【リーグ2位】 1 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 1 南都銀行SHOOTING STARS【リーグ3位】
3 SO 1

勝点 2 勝点 1
0 勝 1 分 0 敗 0 勝 1 分 0 敗

得点	CCW→32分三橋		
	南都→13分野村		
戦評	<p>CCWのセンターパスで試合が開始された。CCWはショートパス、南都はドリブルで敵陣へと攻め込むなど、一進一退の攻防が続いた。13分、南都がPCを獲得し、#9野村がプッシュシュートで得点し、1-0の南都リードで第1Qが終了した。</p> <p>第2Qも膠着状態が続き、両者ともチャンスはあるものの得点に結びつけることができず、1-0の南都リードで第2Qを折り返した。</p> <p>第3Qの開始早々32分、CCW#7三橋がシュートを決め、1-1の同点に追いつく。その後、お互いにチャンスをつかむが得点に繋がらず、1-1の同点で第3Qが終了した。</p> <p>第4Q、CCWはスクープで積極的に南都の裏のスペースを狙いチャンスをつかむ。一方の南都はカウンターでPCを獲得するなど、両者にチャンスはあるものの追加点をあげることができない。1-1の引き分けのまま第4Qが終了し、SO戦となった。</p> <p>南都先行のSO戦では、南都が2人目以降を決められず、3-1でCCWが勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	和田 千恵子	アンパイア	相馬 知恵子
ジャッジ	福田 裕美・鈴木 岳穂・勝又 舞		根岸 郁美

第4試合

ソニーHC BRAVIA Ladies【リーグ1位】 3 $\begin{pmatrix} 2 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 0 山梨学院CROWNING GLORIES【リーグ4位】

勝点 3 勝点 0
1 勝 0 分 0 敗 0 勝 0 分 1 敗

得点	ソニー→4分永井、11分深野、50分中島		
戦評	<p>山梨学のセンターパスにより試合が開始された。開始3分、ソニー#19永井はインターセプトからリバースシュートで先制点をあげた。一方、山梨学はソニーのディフェンスに阻まれ、なかなか主導権を握ることができない。そんな中、ソニーは11分、#8深野のタッチシュートで追加点をあげ、2-0とリードする。</p> <p>第2Qもソニーのペースで試合が展開されるが、得点に結びつかない。一方の山梨学はPCを獲得して得点チャンスをつかむが、これを決めることができない。このまま2-0のソニーリードで第2Qを折り返した。</p> <p>第3Qに入っても攻撃の手を緩めないソニーが攻撃を仕掛けるが、山梨学も固いディフェンスで守りきり、両者得点がないまま第3Qが終了した。</p> <p>第4Q、山梨学は積極的に点数を取りに仕掛けるも思うように攻めきれず、逆にソニーは50分、#10中島のタッチシュートで3-0と点差を広げる。このまま3-0でソニーが勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	野澤 達
ジャッジ	大門 直美・苅谷 和代・植村 佳央梨		我妻 順子